



話題の人気ゲームを楽しむ参加者



eスポーツの聖地化へ

羽咋eスポーツプロジェクト始動

11月4日ににぎわい交流拠点施設 LAKUNA はくい、羽咋eスポーツシティプロジェクトイベント第1弾となる「Challenge Day 2024」が行われ、当日は多くの親子連れが参加しました。

eスポーツ体験会では、いろいろな人気ゲームの体験が行われました。このほかにも、プロのeスポーツプレイヤーと格闘ゲームで対戦を楽しみました。

今後は、プレイヤーの育成セミナーや高齢者向け指導者育成セミナーなどを実施したり、能登初のトーナメント形式による競技大会の開催を目指します。

ふじおか Culture

～藤岡の文化を探る～

【問い合わせ 文化財保護課 (☎235997)】

No.105

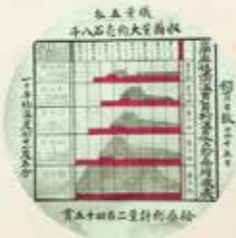
高山社では高山長五郎が「清温育」を考案し、近代の標準的な養蚕法となりましたが、その特徴は「きめ細かな管理」でした。

蚕は発育の程度を「齢」と表現し、孵化したばかりのものを一齢といいます。以後脱皮するごとに二齢から五齢まで成長しますが、高山社ではこの齢ごとに飼育のルールを細かく決めていました。例えば、桑葉を与える「給桑」は一齢では「午前4時から午後11時までの間に7～8回」、二齢では「午前4時30分から午後11時30分までの間に6～7回」のように時間帯と1日の回数が具体的かつ詳細に決まっていた。蚕が成長するにつれて給桑の時間は短く回数は少なくなり、一方で与える量は増えていくのが特徴です。ほかにも給桑の際には大きさを均等に切り揃えるようにしていました。不揃いになると葉ごとに乾燥の速度が異なり、蚕が葉を食べる回数や量に影響を及ぼすためです。中

でも一齢の飼育は蚕が健康になるか虚弱になるかを定める大事な時期であったため、特に入念に行われました。

清温育の要として温湿度管理についても詳細な数値を設定しました。天窗から暖まった空気を逃がしたり、火力を用いて温度を上げたりするなどの工夫をしていました。また、火力によって湿度を下げることは病気の予防手段でもありました。高山社では養蚕時の平均温度を22℃弱に設定し、孵化から繭を作るまでの間の温度と給桑量を具体的にグラフ化しました。

このように養蚕にまつわる方法を具体的かつ詳細に数値化していたことが、安定した繭の収穫を実現したといえます。



清温育で用いられたグラフ

もっと詳しく！清温育

～高山社のきめ細かな養蚕法～

教えて！消費生活

給湯器の点検商法に注意！

Q いきなり訪問してきた業者に「ガス給湯器の点検に回っている」と言われたため話を聞いてしまった。業者は給湯器を見て「すぐに交換しなければ危ない」と言った。最近交換したばかりで不審に思ったが、もし風呂に入れなくなったら大変だと思い交換を承諾してしまった。費用は30万円と高額で不審なため解約したい。

A 点検を口実に訪問し、消費者の不安をあおるなどして新たに製品を購入させる手口です。安易に点検に応じないようにしましょう。点検をしてもらった場合でも、点検後に製品の購入を勧められたら、その場ですぐ契約せず、契約先のガス業者やメーカーなどに相談しましょう。

契約してしまっても、クーリング・オフができる場合があります。契約書面を受け取った日から8日以内であれば無条件で解約できるため、放置せずすぐに対処しましょう。

給湯器の各メーカーでは、10年を目安に信頼できる事業者による点検や取り替えを推奨しています。また、購入する場合は複数の事業者から見積もりを取ることも大切です。

消費生活の相談は市消費生活センター ☎fax 兼用 201133 (来庁相談要予約) 相談時間 平日午前9時～午後4時

ふじおか 防災トピックス

Fujioka Disaster Prevention Topics

災害時に自分や大切な家族を守るには知識と備えです。「ふじおか防災トピックス」では、知っておきたい災害の知識やもしもの時にやるべき事など、いざというときに役立つ防災情報をお知らせしていきます。

冬の火災に注意しよう！

【問い合わせ 地域安全課 (☎27444)】

冬は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。空気が乾燥すると建物や家具などに含まれる水分量が少なくなることで引火しやすくなり、火災のリスクが高まります。また、気温が低くなると暖房器具などの火気を取り扱う機会が増えることも火災が発生しやすくなる要因の一つです。

火災を防ぐには？

火災を防ぐには、火の取り扱いに細心の注意を払うことが大切です。以下の点は火災の原因として非常に多いため特に注意が必要です。

◆たばこの不始末をなくす

たばこが原因の火事を防ぐには、決まった場所で喫煙をする、寝たばこはしない、消火したことを必ず確認するなどのルールを守りましょう。

◆コンロから離れるときは必ず火を消す

短時間でも離れるときは火を消し、消し忘れにも気を付けましょう。また、コンロの近くに燃えやすいものがあると火が移ってしまう可能性もあるため、コンロの近くに燃えやすいものを置かないことも大切です。

◆ストーブの近くに燃えやすいものを置かない

外出時や就寝時にはストーブを消しましょう。

◆配線やコンセントを見直す

たこ足配線にならないように工夫し、コンセント周りにはほこりがたまらないよう定期的に掃除しましょう。

